船田町会だより

ＮＯ．１２４
平成２７年２月１７日
発行責任者　平塚　忠勇

「防災アンケート」調査で備えの重要性を再認識！

町会の防災対策委員会が実施したアンケート調査が２月１４日集約されました。この結果については防災対策委員会で早急に各項目毎に結果を集約し、この内容を分析、検討しながら今後の対策を構築していくことになります。すでに７区のさくら台では調査結果を集約し町会に先駆けて、概要報告が行われていますので紹介します。

対象世帯数は１３５，回収数１０６、回収率は７８.５％ です。

□家具、家屋等の安全診断

転倒防止は６０％以上で実施、器具装着の町会活用の希望は２５％、塀やブロックなどの強度の点検・確認をしていない６０％、土砂崩れ・洪水の危険を感じている１５％、 消火器設置は６５％、住宅用火災警報器は９３％が設置

□各家庭の非常用品の備え

非常持ち出し袋、飲料水、乾パン、懐中電灯、携帯ラジオ、救急セットなどの保有率は７０％以上となっているが、簡易トイレは３０％を切り、補聴器・介護用品は６０％と他の非常用品と比べるとやや低い。薬の備えは８０％と高くなっている。

□災害時の集合場所と避難場所

集合場所は６４％、避難場所７５％、集合場所の認知が避難場所より低い。

□防災対策の要望

*アンケート調査、勉強になりました。「いいえ」のところを今一度見直します。
*防災訓練、長房中学校は遠すぎる。炊き出し訓練についても身近でできないか検討してほしい。
*震災時、町会と井戸水所有者との間で井戸を利用できる協定の締結を。
*トイレが一番困る。最低でもレジ袋と凝固剤の確保を、簡易トイレの購入を町会が共同斡旋したらどうか。
*個人情報との関連もあるが震災時、一人暮らしの安否確認など事前に十分な意思疎通が必要。
*大沢さん宅北側の山林で共立所有地際の池の水を期待している。ぜひ、保存して。

平成27年度役員改選にむけ役員選考委員会を設置

来年度は町会役員改選の年です。町会は２月１４日、第９回役員会を開催して、役員選考委員会を設置しました。 役員選考委員会は会則第１２条に基づいて会長、副会長、書記、会計、会計監査の候補者を決定し、総会に報告して承認を求めることになっています。役員選考委員は以下の通り決定しました。３月３１日まで選出作業を進めますが、自薦、他薦も受け付けますので積極的に申し出て下さい。

委員長　川越 光夫（７区）
委　員　織田 延一（３区）、井上 直樹（４区）、木村 雄一（６区）、平田 哲男（８区）

町会短信

□お悔やみを申し上げます。

９区　水島　芳江様（享年５８歳）　１月３０日　ご逝去
11区　小野里昇三様（享年７６歳）　２月０５日　ご逝去

□自由が丘裏山：倉臼（クラウス）さん土地のフエンス取り付け工事等の説明会

１月２２日、表題の説明会が６区と７区から５６人が参加して船田会館で開催されました。これほど大勢の住民が参加したのは、倉臼さんがブリーダーをしており、犬小屋を建ててこの場で犬の飼育を行うのではないかという不安がありました。冒頭、この問題について解明したところ、そういう計画は一切ないことが言明されました。また、倉臼さんはこの間、無断で隣接の樹木を伐採したり、篠竹の根を根絶するために除草剤を大量に散布したり、焚き火によって消防車が出動するなど、隣接する住民とのあいだでトラブルが生じて不信感が増長していました。こうしたことから土地利用、土地の整地、農薬散布、周辺の災害防止と安全確保など幅広く議論を行いましたが、結論が出ず、継続協議していくことになりました。１月３０日に再度関係者で折衝しましたが結論はでませんでした。